

北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

令和5年度 北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会「総会・研修会」(報告)

所員(利用者)・職員、ともにめざそう やりがいある仕事、暮らしへの安心!

6月3日(土)、札幌、かでの2・7を会場に標記の『総会』及び、『研修会』が参加形態を集成型とwebによる「ハイブリット方式」によって開催されました。



『総会』においては今年度の活動方針、予算案等が満場一致で議決され、新役員が選出されました。また、その後、引き続き実施された『研修会』では事業所の定員数(基準を20名)によって2グループに分かれ、さらにそれぞれ2か所の事業所より話題提供をいただき、互いに抱える課題について交流、討議が行われました。研修会の概要は次の通りです。

冒頭、竹田会長より「近年、コロナ禍による困難に加え、報酬改定の結果、事業所運営に新たな課題を抱えた事業

所が少なくありません。会員の多くは小規模な事業所です。安定した運営は簡単ではありませんが今年度も本会らしく『研修』と『交流』を柱に職員自らの資質の向上、利用者(所員)や職員、そして、地域と共に、より良い事業所づくりを努めましょう。」とご挨拶がありました。



未来に希望を持てる事業所を!



第1グループ(会場・16名・web・9名)では「むろらんワークセンター(室蘭市育成会)」の鈴木さんから『管理者は見た! それって虐待なんじゃない?』の瞬間!』と題し、所員対応の困難事例が紹介されました。それらは職員集団で討議、所員の気持ちを理解し、我慢強く向き合い、安心して通える環境にした実践が報告されました。

社会福祉法人ホープフロンティア(白老町育成会)の小川さんからは「生

活介護の事業・活動内容の紹介と現在の悩みについて」事業所紹介と合わせ、抱える「作業種や工賃」



「集団づくり」等に対する悩みや、所員への対応が難しかった事例について報告がありました。

残念な事にwebの不具合により、発言時間が限られてしまいましたが、参加者からは総合支援法の下で支給される訓練や介護等への給付費が低過ぎるため、職員給与も低水準にならざるを得ない現状が報告されました。

また、所員増が簡単には望めず、急速な物価高騰が進む中、職員給料の昇給をどうしたら実現できるのか。問題提起もなされました。

どの分野にも人手不足が叫ばれる中、障がい福祉の現場で働く所員や職員が未来に希望を持てる環境にするには、共につながり共同して訴えていかなければ解決できない実態があることを改めて感じました。

(まとめ…フロンティア登別 山田さん)

会場出席者…29名(15事業所)
 Web出席者…23名(11事業所)
 計…52名(26事業所)
 *一事業所が重複参加

《2面に続く》

事業所運営の改善と適切な支援



第二グループ（会場：11名・web：14名）は規模の小さな事業所が対象です。

「俱知安町ワークステーション輝（俱知安町親の会）」の初山さんからは多機能型事業所の現状が報告がされました。作業はメール便や下請け作業が主ですが、近年所員の高齢化が進み、できる作業種や、作業の効率化が低下。今は福祉的な活動や、無料サービス等を検討し始めているとのことでした。



次に「余市はまなす」高崎さんからはB型事業所における活動と支援について報告がなされました。

段ボール箱の組み立て等の下請け作業や、果汁加工、菓子づくり等を行ってきたが、所員の減少や高齢化により、現在の作業量が負担になっていると感じ、支援の質の向上に向け、所員の特性や生活歴等の検討会議を実施。職員全体で情報を共有する中で、適切な支援に結びつくよう努力していることが報告されました。

参加者からは「個々の特性に合わせた作業内容等、支援の質の向上への努力も求められているのでは」とか、「地域によっては所員が日中、安心して過ごせる場所（事業所）があるからこそ、その家族も安心して働くこと

ができ、生活が支えられている面もあるのでは」さらに、今後「生活介護事業所の開設を含め、検討していく事も必要だ」と言った声が寄せられ、参加者からも改めて研修の機会を要望したいとして、討議は終了しました。

（まとめ：静内耕生舎 竹田さん）

本研修会で報告をいただいた2名の方々の研修を終えての感想です。

改めて思う職場環境の大切さ

日常の何気ない支援や、言葉かけが事業所内での虐待につながる可能性があると感じ、そうした事例を報告させていただきました。

スタッフ育成の課題は多くの事業所に共通することです。参加者のお話を伺う中で、スタッフ同士が「間違っている」とお互いに話題にできる職場環境が大切だと、改めて感じました。

今後通所される所員の皆さんが安心して通える事業所づくりにスタッフ全員で努めていきたいと思えます。

（室蘭ワークセンター岬

鈴木さん）



悩みは皆同じ

現在の悩みは「生活保護受給者」所員の皆さんの通所率が低いということ。所員の暮らしが少しでも豊かになれるよう、3万円弱をお渡ししています。日給の金額により、通所日数を少なくしてしまうという弊害が起きています。制度の趣旨や仕組を分かりやすく、粘り強く伝えていこうと思います。

研修会で特に印象深かったのは「工賃も重要だが、様々な障がいを抱えている人の中には、たくさんの工賃を生み出す人だけではなく、居場所としての利用を求めている人もいるのでは」というご意見でした。所員の皆さんは様々な経済状況にあります。工賃の多少だけが全てではないと気付かされました。

研修会全体を通じ、一人一人の発言が尊重され、互いに共感しながら話し合いが進行しました。そして、各々が抱える悩みも実は根本的にはみんな同じなんだと感じました。

今回はグループワーク形式をもっと強め、一つの課題に支援者同士の意見をどんどん出し合うような形式も良いかと感じました

（余市はまなす 高崎さん）



在学中に知っておきたい公的社会保障制度

〔障害基礎年金について〕

事前の準備が大切 今、分かって良かった！

7月14日、標記の研修会が新篠津高等養護学校で開催されました。主催はPTAです。本年4月、「北海道知的障害児者生活サポート協会」にご相談をいただき、研修内容や講師をご紹介するなど、お手伝いをさせていただきました。

当日は、平日にもか



かわらず30名ほどの保護者が参加。「札幌大通障害年金申請相談センター」を運営する宮脇社会保険労務士による1時間弱のお話です。制度自体の説明はもちろん、申請する際のポイント等、具体的なお話が続きました。今後、お子様たちにとっては自立に向けた、経済的な支えとなる大切な公的制度。皆さん熱心に聞き入っていました。

寄せられた感想をご紹介します

- 事例を含めての説明があり、分かりやすかった。
- 卒業前に聞けて良かった。
- 社労士へ依頼するのも良いと感じた。
- 今から(早めに)準備を進めたいと感じた。
- 資料も参考になった。参加して本当に良かった。

*「サポート協会」とは…

実はその昔(とは言っても十数年前ですが)、知的障害のある人は保険に加入することができませんでした。育成会の会員はやむを得ず、会員相互による助け合いをめざし「互助会組織」を立ち上げ、互いに支え合ってきました。

しかし、2006年、我が国保険業法の一部改正により、事業を継続することが出来なくなり、それを引き継ぐ形で誕生したのが「全国知的障害児者生活サポート協会」です。「知的障害、自閉症児者と、その家族の安心、安全の生活づくり」を応援する補償制度への加入を皆様にお勧めしています。また、ご紹介したように、研修会等へのご支援も行っており、現在、発足から17年、全国で14万6千人、道内においては約6千人の会員がいらつしやいます。

事務局は「北海道手をつなぐ育成会」が担当、総合補償制度への加入に関する「質問やご相談があれば」遠慮なくお問い合わせ下さい。

北見支援学校に基本実施設計費(675万円) 特別支援学校教室不足解消に 貴重な一歩！

昨年10月26日、道育成会を含む、障がい者親の会7団体と、北海道障害児教育フォーラム実行委員会の8団体で、道内における特別支援学校(67校)の教室不足などに対し、教育環境の改善を求める要望書を北海道教育委

員会に提出。同日の記者会見の様子はマスクミ各社に大きく取り上げられました。

関係機関には、検討をいただいておりますが、この度、「令和5年度教育費補正予算案の概要」の冊子が当会に届けられ、「学校建設関係」では「新規」として標記の予算が計上されました。関係者の皆様のご理解とご支援に、そして、今後とも引き続きの改善をお願いし、心からお礼を申し上げます。

【要望事項】

1. 教室不足解消のため校舎の増築、学校の増設を。
2. 希望する児童生徒が身近な地域で学べるように通学時間を1時間以内に。
3. 在籍数の上限を一校、150人に。

【要望団体】

- ▼北海道手をつなぐ育成会 ▼札幌市手をつなぐ育成会 ▼北海道重症心身障害児(者)を守る会 ▼北海道小鳩会(ダウン症児親の会) ▼北海道自閉症協会 ▼北海道自閉症協会札幌分会札幌ポプラ会 ▼北海道学習障害児者親の会クローバー ▼北海道障害児教育フォーラム実行委員会

8月の予定

- 6日(日) 第68回 全道大会 小樽大会
第29回 小樽大会 本人大会

知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病氣やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの
あんしん保険
少額短期健康組合保険(特約型) 2019年創設

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの
こども傷害保険
権利保護補償付傷害保険 2019年創設

このようなお困り事に
心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

ぜんち共済株式会社
関東財務局長(少額短期保険)第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

0120-322-150
平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。
【2020年1月作成 19-T06633】

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン
〒060-0032
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

弁護士が
全面的に
サポート

知的障がい児者・自閉症児者の
生サポは **家族の安心を支えます**

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病氣やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー 北海道支店
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102
レジディア大通公園2F
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
札幌支店
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F
TEL: 011-204-7510
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

保険のお問合せはこちら

主な補償内容

病氣やケガで入院したとき 入院給付金	病氣で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 <small>※プランによって補償します</small>	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 <small>※プランによって補償します</small>
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 <small>(地震・噴火・津波によるケガも対象)</small>	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 <small>※プランによって補償します</small>

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。
特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セト

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かのる2・7 4階
北海道手をつなぐ育成会内
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2022年12月現在の内容です。(D-006318 2024-03)

★会員事業所紹介★

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を
目指しています。体力のある事業所も体力のない
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を
待っています。

**北海道手をつなぐ育成会
事業所協議会**

〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 かのる2・7(4F)
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804
E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

**就労支援多機能型事業所 就労継続支援B型・自立訓練(生活訓練)
ワークステーション輝**

〒044-0055 北海道虻田郡倶知安町北5条西3丁目5
電話・FAX (0136)22-2891
Eメール kagayaki-hatuyama@abox3.so-net.ne.jp
☆定員 20名(B型14名・自立6名) 昼食提供(実費)

★主な作業
☆クロネコヤマト
メール便配達
☆古紙回収
☆一般店舗掃除
☆小物づくり
☆ウエス作り
☆オブラート箱折り

23年3月29日の修了式

2022年12月現在の内容です。(D-006318 2024-03)